



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容、指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	小中一貫教育	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた学習指導（数学、英語での少人数授業や習熟度別授業、数学学力向上支援講師の活用）の実践</li> <li>わかる授業のための工夫</li> <li>他と協働して学ぶ場面の設定</li> <li>学習指導要領の主旨に沿った授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の着実な実施</li> <li>授業時数の確保</li> <li>年間指導計画、評価計画の早期立案と公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9年間を見通した小中一貫合同研修と課題改善カリキュラムの活用</li> <li>学習習慣を定着させる指導法の研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科部会による組織的評価改善</li> <li>自己評価による主体的な学びの継続</li> <li>評価方法の公開</li> <li>授業アンケートを生かした授業改善</li> <li>学校評議委員会における評価改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画、評価計画の保護者への公開</li> <li>小学校との授業参観交流や指導方法の連携</li> <li>学校公開、授業参観</li> <li>地域講師の活用</li> <li>家庭学習の習慣の確立</li> </ul>
		<p style="text-align: center;"><b>校内研修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力・豊かな心を育む指導の充実</li> </ul>		

### 授業改善策の検証方法

- 学力向上を図るための調査や技能検定試験の結果などを分析し、課題を把握する。
- 授業アンケートを実施し、各教科部会や分掌部会で組織的に授業改善策を検証する。
- 校内研修会では「ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動の実践に向けて」をテーマに、授業研究、研究協議会などを行い、支援が必要な生徒への働きかけ方などを共通理解するとともに、目標実現に向けた授業改善策を検証する。
- 小中一貫研修では「主体的に学び活動する生徒の育成」を期し、9年間を見通しを立てた効果的な指導方法を検証する。